

1. ご注意 (必ずお守りください)

●表示内容を無視して誤った使い方をした場合に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

- 危険、警告、注意のアイコンと説明

●お守りいただく内容の種類を次の表示で区分し、説明しています。(下記は給表示の一例です)

- 禁止の行為を告げる給表示です。
「注意喚起」を促す内容があることを告げる給表示です。
行為を強制したり、指示したりする内容を告げる給表示です。

危険

Table with 3 columns: 説明書熟読, 火気を近づけない, バッテリー液が口に入るか、飲み込んだ時の口直し, ハイブリッド車の補修もしくはエンジン始動用以外に使用しない, バッテリー液 (希硫酸) 取り扱いに注意, 取り扱いは保護メガネ、ゴム手袋を着用, 破裂、爆発注意, 目目にバッテリー液が入った時の処置, こども禁止

危険

Table with 3 columns: バッスターケーブルの使用は正しく行う, バッテリー液量 (最低液面) 以下で使用しない, バッテリー端子に過大な力をかけない, 静電気に関する注意, ケーブルターミナルや取り付け金具は確実に固定する, 充電器の使用は正しく行う, 充電ケーブルは正しく接続し、充電中は取り外さない, 液体がこぼれる原因や状況, 高温多湿によるバッテリー液の蒸発, 衝撃によるバッテリー液の漏れ

警告

Table with 3 columns: バッテリーの交換は正しい順序で行う, 交換点検は「ワンスイッチをOFFモードにライト等のスイッチをOFF切)にする, ケーブルの取り付けは必ず+と-を逆しない, 順序を誤ると引火爆発の原因となります, 引火爆発の原因となります, 電気製品の破損、焼損や火災の原因となります, バッテリーの充電時の注意事項, 皮膚、衣類にバッテリー液が付着した時の処置, 電気機器の直接接続禁止

警告

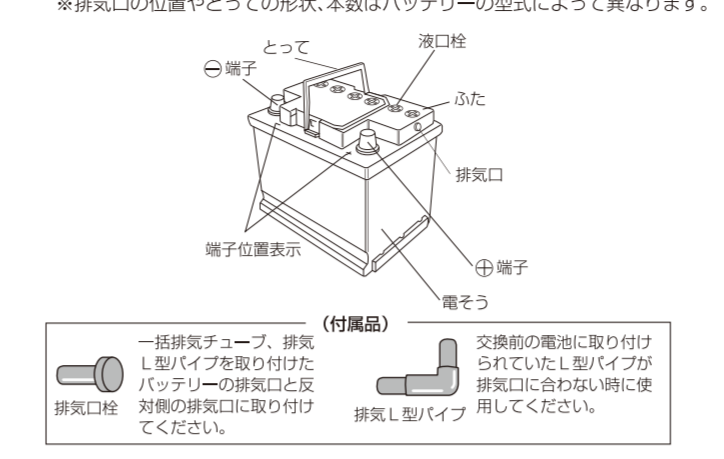
Table with 3 columns: 異臭、液漏れ、変形した状態を使用しない, 排気口をふさがれない, 精製水を入れない, 破損や液漏れによる車両損傷の原因となります, 破裂の原因となります (詳細はP4(2) (3)バッテリー各部の名称を参照ください), 海風、液漏れによる車両損傷や火災の原因となります, バッテリーは重量物を取り扱わない, バッテリー液の補充は精製水を使用する, 使用温度範囲-15℃~60℃ (長時間使用は-30℃~75℃) で使用する

2. ご使用前に

- (1) バッテリーの用途
ハイブリッド車の補修用もしくはエンジン始動用です。上記用途以外では使用しないでください。取り扱いは誤ると液漏れ、焼損、引火爆発の原因となります。

- (2) 保管について
・高温、高湿、雨露、直射日光を受けることがない、また有害なガス、液漏、粉塵発生、浸水、水没の恐れのない風通しの良い場所に保管し、横倒しの状態や落下しやすい場所では保管しないでください。
・こどもや取り扱い方法、危険を十分に理解しないものかふれることのない場所に保管してください。
・火気を近づけたり、ショートさせないでください。
・保管中に「バッテリー」が付いていた排気型パイプが新しいバッテリーに合わない場合は、付属の排気型パイプを使用してください。

(3) バッテリー各部の名称



3. バッテリーの交換方法

- バッテリーの交換は、車両等の取扱説明書に従って自己責任のもとで行ってください。
○バッテリーの交換時にラジオ、時計、カーナビなどの電装品及びコンピューターのメモリのバックアップが必要かどうかは車両等の取扱説明書で事前に確認してください。
○搭載されているバッテリーと同一型式のバッテリーと取り替えてください。異なるものを用いると異常な挙動を生じる原因となります。

(1) 古いバッテリーの取り外し方

- ①パワーステッチをOFFモードにしてハイブリッドシステムを停止、もしくはエンジンを止めキーを抜いてください。
②車両から一括排気チューブが接続されている場合、チューブを付けたまま排気型パイプをバッテリーから取り外す。

- ③先に、アース側(一般的には右側)ケーブルを、次に左側の順でケーブルターミナルを外す。
④取り付け金具を外し、バッテリーを両手でしっかり持って取り外す。(ケーブルターミナルが汚れている場合はワイヤブラシ、サンドペーパー等で清掃することをおすすめします。)

(2) 新しいバッテリーの取り付け方

- ①取り付け前に、車両に合ったバッテリーであることを確認する。
②新しいバッテリーを両手でしっかりと持って水平に設置し、取り付け金具ががたつかないようしっかりと取り付けする。
③先にバッテリーの端子に右ケーブルターミナルを、次に左端子に左ケーブルターミナルを取り付ける。
④ハイブリッドシステム起動前、もしくはエンジン始動前にケーブルターミナルや取り付け金具のゆるみがないか確認する。
⑤一括排気チューブと排気口栓の取り付け

補償条件

本製品は厳密な品質管理と検査の上、お届けしておりますが、万一ご購入後、補償期間内に正常なご使用状態で不具合が生じた場合は、ご購入店(通信販売、ネット販売等含む)で点検・調査の上、下記の条件にのみ補償させていただきます。

- 1.補償内容
2.補償の対象 (国内使用品に限る)
3.補償期間
4.適用除外
5.自動車自体の原因による場合
6.補償期間内、事故による場合
7.補償期間外、事故による場合
8.バッテリーの搭載位置、車両懸架機構変更、充電装置などに改造が加えられた車両で使用された場合
9.不具合の車両がチェックできない場合
10.所有者が変更となった場合

(A) 一括排気チューブの取り付け

- 車両から一括排気チューブが接続されている場合、排気型パイプと一括排気チューブがしっかりと接続されていることを確認し、パイプのもう一方の先端をバッテリーの排気口にしっかりと差し込む。
(2) バッテリー液量 (最低液面) の確認
(3) 排気型パイプと排気口の接続

(B) 排気口栓の取り付け

- 車両から一括排気チューブが接続されている場合、反対側の排気口に排気口栓を取り付ける。

4. バッテリーの保守・点検方法

- バッテリーの液量点検は「日常点検項目として定められています。
~バッテリー-液量の点検~
(1) 下記を参考にバッテリー液量を確認する。
(2) バッテリー液量はUPPER LEVEL (最高液面) とLOWER LEVEL (最低液面) との間に保ち、液量が液面線間の半分以下に減っている場合は、補水をする。

~バッテリーの補水~

- ③バッテリー補充液 (精製水) を準備する。
④バッテリー液口栓を外す。
⑤バッテリー補充液 (精製水) を UPPER LEVEL まで補水する。

~バッテリーの清掃~

水で濡らした布で清掃してください。

~取り付け金具、ケーブルターミナルの取り付け点検~
バッテリー取り付け金具、ケーブルターミナルにゆるみがないか確認してください。

5. バッテリーがあがったときには

- システム起動ができない、もしくはエンジン始動ができないなどの場合には、車両の取扱説明書に従って対処ください。また、ご不明な点はこちらにご相談ください。
(1) 充電器による充電の仕方
充電器で「バッテリー」を充電する場合は、充電器添付の取扱説明書に従い正しい手順で行ってください。
充電時は車両よりバッテリーを取り出し、液口栓を取り外してください(火気厳禁)。

充電電流の設定はP10「7.要項表」の普通充電電流とさせていただきます。

- (2) バッテリーケーブルによるシステム起動/エンジン始動
●車両取扱説明書の「バッテリーがあがったときには」の項をお読みください。(プーストする場合にエンジンルーム内の専用端子を使用する場合があります。車両の取扱説明書にしたがってプースターケーブルを正しくご使用ください。)

6. インジケータ

- 液不足/要充電/良好のインジケータの見方と必要な処置
液不足: バッテリー液量が不足しています。P7「4.バッテリーの保守・点検方法」で「バッテリーの補水」の項を参照の上、補水してください。
要充電: バッテリー液比重が低下しています。P8「5-(1) 充電器による充電の仕方」の項を参照の上、補充充電をしてください。
良好: バッテリー液比重および液量ともに良好です。そのままご使用いただけます。

7. 要項表

Table with 4 columns: 型式, 容量20時間率 (Ah), 普通充電電流 (A), 排気タイプ

- 「故障かな?」と思ったら...
①システム起動しない。/エンジン始動しない。
②バッテリーの底に白いものが溜まっていたり、液が白色、または茶色に濁っている。
③車両を長期間使用しない間に、バッテリーがあがってしまった。

「リサイクルの推進にご協力を お願いいたします」
株式会社 GSYUSA
0120-431-211

GSユアサ バッテリー
ECO.R ENJ(エコ・アルイー・エヌ・ジェイ)シリーズ
バッテリー取扱説明書

- このたびは、「GSユアサ バッテリー」をご購入いただき、誠にありがとうございます。
目次
1. ご注意
2. ご使用前に
3. バッテリーの交換方法
4. バッテリーの保守・点検方法

「リサイクルの推進にご協力を お願いいたします」
GSYUSA
Pb